

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：協同組合土質屋北陸
 ・北海道土質試験協同組合 ・協同組合土質屋北陸 ・関東土質試験協同組合
 ・中部土質試験協同組合 ・協同組合関西地盤環境研究センター ・協同組合岡山県土質試験センター
 ・協同組合島根県土質技術研究センター・協同組合広島県土質試験センター ・宮崎県地質調査業協同組合
 なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

北海道土質試験協同組合

<https://www.src.or.jp>

当組合では、コンクリート骨材試験、コンクリート圧縮試験を実施しているため、それらの試験に必要な試験所認定である ISO/IEC 17025 認定を受けております。また、当組合は土質試験を中心としている試験所のため、上記の試験のほか土質試験の一部も ISO/IEC 17025 の認定範囲に含めております。その他、認定範囲外の試験についても当組合の ISO17025 のマニュアルに準拠して試験を実施しています。この基準を大雑把に説明しますと、正しい試験結果が求められるようなインフラ、要員、試験手順を持ち、各種リスクに対して試験値に影響を与えないように速やかな対応を取り、機密を保持し、公平性を常に維持できる試験所ということです。試験所としてはすべて当たり前のことですが、ISO/IEC 17025 認定を受けることによりそれらを文書化されたマニュアルで管理できるようになっています。当組合は常に正確な試験結果を提出することを目標として活動しております。

(文責：中川範彦)

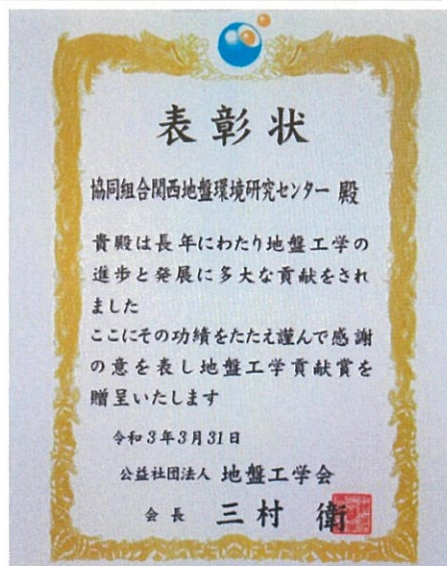
協同組合関西地盤環境研究センター

mail to : info@ks-dositu.or.jp

去る 4 月 19 日、地盤工学会の「令和 2 年度地盤工学貢献賞」を地盤工学会関西支部通常総会の席上、大島支部長より賜りました。

【受賞理由：協同組合関西地盤環境研究センターは、技術者育成・技術支援、地盤工学を通じた社会への貢献と地盤工学のイメージ向上に努めてきた。1986 年より近畿圏の官公庁技術者を対象とした「電算活用講習会」、「ICT 講習会」を開催し、自治体の技術職員研修会も開催している。さらに、「人材活性化フォーラム」、「市民防災フォーラム」を開催し、産学官の技術者の交流、市民への地盤工学の普及に取り組んできた。技術者育成・技術支援、社会的イメージの向上での永年の功績は多大であり、地盤工学貢献賞と認められた。】
 長年の功績を認めて頂いたことに敬意を表すとともに、コロナ禍に負けない明るい話題としてご報告いたします。

(文責：中山義久)



協同組合土質屋北陸

mail to : info@doshitsuya.or.jp

毎年 1 月末に行っていた冬季セミナーですが、コロナ感染増で 3 月 5 日に延期して開催しました。



協同組合土質屋北陸
 (市山勉理事長)は5日、
 冬季セミナーを金沢市の
 ITビジネスプラザ武蔵
 で開催した。
 セミナーでは、エイ・

コロナ禍機に、新たな時代へ 冬季セミナーで八尾氏が講演

土質屋北陸

エル・ピー(富山県射水
 市)の代表取締役社長で
 健康心理士としても幅広
 い活動を行っている八尾
 健啓氏が「長引くコロナ
 の心身疲労を防ぐ方法」
 を演題に講演
 した。

コロナ禍、コロナ後の生き方
 を伝授したセミナー＝金沢

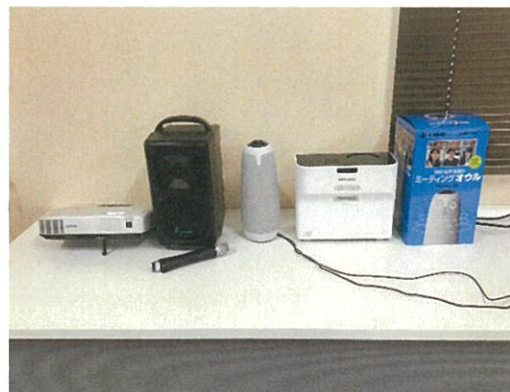
八尾氏は、
 ここ10年にお
 ける自然災害
 の強化や地
 球環境の悪
 化、そこにコ
 ロナ禍が加わ
 り、世界が大
 きな転換点を
 迎えていると
 指摘。易学的
 に見ても、今

年は世の中が激変する年
 回りであるとし、こうい
 う時こそ、人間が大きな
 視野で手をつなぎ合い、
 新たな時代に向かってい
 くチャンスだと説いた。
 その上で、心理学の観
 点からコロナ禍が人間の
 心に与えている影響や、
 易学に学ぶ困難の捉え方
 と乗り越え方について述
 べ、変化を受け止め前向
 きな心で、一人一人の人
 間を大事にすること、ア
 フターコロナを見据え
 て、しっかりと準備する
 こと、自然の摂理や大き
 な流れに逆らわずに生き
 ることが大切と強調し
 た。

【コロナ禍を機に・・・】

＜オンライン立会も実施＞

Zoom を使ったのオンライン立会も可能です。
 AI カメラ・AI マイク＆スピーカーを準備していま
 す。360° 方向で声や動きを認識してくれるのでス
 トレスなしで立会の説明も動きながら出来ます。
 AI が声を察知するのでマスクをしても OK。
 カメラが発言者に自動でフォーカスします。誰が
 どんな表情で話しているのかまで伝わり、別の場
 所から参加する人にも発言のタイミングがわかり
 やすく、立会を活性化します。



(文責：森川 和重)